

京都大学大学院工学研究科の木村研究室 及び 青木あすなる建設株式会社様との

共同研究契約締結！

気が付けばもう12月。一年、366日と言う時間はいつからこんなに短くなつてしまったんだらう。

振り返れば去年の今ごろ、いったい何をやってきたのか。〇〇。丁度、事業協力者をお呼びして、ファンド向けの事業説明会を開催していた。〇〇。勿論、コテンパンにダメだしを喰らい、出資をして頂くことは叶わなかった。

誤解なきようにお伝えするならば、この事業に否定的な見解をされた方は一人もおらず、逆に「良い事業」として捉えて頂いたのだが、如何せん、ビジネスとしての脈が大き過ぎて、そもそもちゃんとビジネスとして成立するのか、そもそもGPと言う弱小ベンチャーに担える事業なのか、という事を見事に問いかけられた機会であった。

いまだ安定的な資金調達は出来ていないが、関係各位、本事業に思いを寄せて頂いている方々からの多大なるご協力を頂きながら、なん

とか福島県二本松市に製造現場を構えることが出来た事は、我々にとつては大きな前進である。あれからもう一年。なんとか事業は前に進みだしている。

一方、第三者による学術的なデータ収取も、同じく事業推進に向けての大変大きなポイントであることは言うまでもなく、この度11月10日付で京都大学大学院工学研究科の木村研究室 <http://geomchanics.kuci.vkyoto-u.ac.jp/> と青木あすなる建設様 <https://www.aaconst.co.jp/>

と弊社によるセルドロンに関する共同研究契約を締結した。

木村教授は土木業界の権威であり、私なんぞが仕事ばかりか、易々とお会い出来るような立場のお方ではないこととは想像に難しくないと思うが、ここでもまた「得意の強運」を活かして奇跡的なスピードで契約締結に至った。

今回の共同研究においては、改めてセルドロンの基礎データを取得・検証して頂く事と、今後セルドロンが大きく貢献出来るであろう福島復興関連事業や、同じく全国的もしくは全世界的に必ず必要になってくる浚渫工事を念頭に置いた実地でのデータ収集を目的としている。

木村教授は同時に「認定 NPO法人 道普請人 <http://coreroad.org/>」の代表理事を務められておられる。



アジア、アフリカ、南米、離島にて携わった道路整備は145km、そのうち特に注力されておられる土囊による道路改良工事は、何と49.2km。そのご苦労と、何よりそれを成し遂げるパッションを想像することは皆様にとつても難しいことではないと思う。そして、これから始まる木村教授との研究やその先にあるであろう新たな技術開発に、私自身が一番心を躍ら



せている。共同研究が進んでいく中で新たな発見や、また話題に事欠かない木村教授との会話や、その想いを随時ご案内させて頂く。

あれからもう一年。何はともあれ、世界中何処でも、誰にもでも平等に一年、366日という月日が流れた。そしてこれからまた、新たにあつという間に過ぎてしまふであろう一年という時間が待っている。急がなくては。

2016年 師走

藤井 成厚

お知らせ

農林水産省公表

「ため池の放射性物質対策技術マニュアル」にてセルロース系固化材の使用が明記されました。



ため池の放射性物質対策技術マニュアル

平成28年3月(第2版)
農林水産省

今まで福島県のさまざまな除染工事で発生した高含水の除去土壌に、セルドロンが有効なことを示しておりましたが、農林水産省が平成28年3月に公表した「ため池の放射性物質対策技術マニュアル(第2版)」にて、弊社のセルドロンが該当すると考えられる内容が追記されました。

「ため池の放射性物質対策技術マニュアル」(農林水産省 HP内)
http://www.maff.go.jp/j/nousin/saigai/tamemanu_zentai.html
P114一文抜粋

保管容器の自立性を確保するために、やむを得ず固化材を使用する必要がある場合は、セルロース系のものとする。セルロース系以外の使用を検討する場合においては、事前に福島環境再生事務所と調整を図るものとする。

私が検索する限り「セルロース系固化材」は、セルドロンしかありません。ため池や河川の浚渫工事には、セルドロンが効果的です。



セルドロンの特徴

セルドロンは、細かなセルロース繊維で構成される微細粒子です。セルロースの持つ高い吸水性と、特殊な粒子構造により、土木・建設工事や浚渫工事、土砂災害等で大量に発生する汚泥や土砂などの「高含水」「高流動性固液混合物」の流動性を即座に低下させます。その結果、「瞬時に」「対象を選ばず」「簡単に」作業性を向上させ、工期短縮、対象物の処分・処理コスト圧縮を実現します。

◇全国の浚渫案件大募集◇

現在、福島県のため池に限らず、全国の高含水土壌でお問合せがあり、東京の公園の池改修工事や愛媛県のため池工事、静岡県の護岸工事では採用を検討中。

セルドロンを使うことで、自然に優しく作業の効率化などができます。ぜひお問い合わせ下さい。

03-6369-8166



キム・ギョンの
コラムコーナー
二本松の菊人形
福島には色んな祭りやイベントがあります。今回はこの中でも、二本松の菊人形についてです。
二本松の菊人形は、藩政時代から菊の愛好者が多く、昭和の初期から町に菊人形が飾られていました。
昭和30年から「二本松の菊人形」として、霞ヶ城公園で開催されるようになり、現在の姿となっております。
毎年10月から11月まで霞ヶ城公園で開催される様々な菊人形と菊花を見ることができ、菊人形を見ながら軽く散歩できるのが家族と一緒に楽しむイベントです。
一つ物足りない点は霞ヶ城公園の中で開催されるので周辺からは見えない菊人形をしていのか見分けが分かりにくいのでは分かりやすい分かります。すいしてあげればよいと思う。